

会 議 録

1 会議名

令和2年度第9回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

(1)令和3年度当初予算案の概要について

○協議事項（公開）

(1)令和3年度地域活動支援事業について

(2)自主的審議事項について

3 開催日時

令和3年2月26日（金）午後6時00分から午後8時10分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：西山新平(会長)、飯田秀治(副会長)、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎

・事務局 牧区総合事務所：山岸所長、隠田次長、横尾グループ長、丸山班長

（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【隠田次長】

・会議の開会を宣言。

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：横尾委員に依頼。
- ・本日の報告事項(1)令和3年度当初予算案の概要について、事務局に説明を求める。

【山岸所長】

- ・—資料1に基づき説明—

【西山会長】

- ・今ほどの説明について、意見等があればお願いします。

【清水委員】

- ・新型コロナウイルスワクチンの接種について、市ではどのような検討を行っているのか。また、上越市総合体育館の大規模改修工事を予定しているが、工事中でも使用することは可能か。

【山岸所長】

- ・工事期間中は使用できない。

【清水委員】

- ・工事の開始時期はいつか。

【山岸所長】

- ・詳細な日時までは確認していないが、着工は令和3年度に入ってからである。また、新型コロナウイルスワクチンの接種について、市では接種事務室を設置し、対応している。県内においては、一部ではあるが医療従事者の接種を開始した。担当課からの説明では、3月末には65歳以上の方へ接種券を郵送し、その後、5月から6月にかけて64歳以下の方へ接種券を郵送する予定とのことである。接種方法については、会場の手配や医師及び看護師の確保が必要となるため、現段階では集団接種となるのか個別接種となるのかわからない状況である。特別養護老人ホームなどの入所者がいる福祉施設については、当該施設で接種することになると思うが、詳細が分かり次第、改めて報告する。

【坂井委員】

- ・新型コロナウイルスワクチンの接種について、高齢者などを優先することも重要であるが、福祉施設で働く看護師やヘルパーの方々にも優先して接種してもらえればと思う。ヘルパーは1人暮らしの高齢者宅を毎日訪問しているため、感染リスクが高いと思う。優先順位は国が決められていると思うが、福祉施設で働く方々が優先的に接種できるよう検討してもらいたい。次に、除雪について、新年度予算では「除雪支援システム実証モデル事業」の予算が組まれている。今冬の豪雪では、道路除雪が遅く通勤や通学に支障が生じた。除雪業者も大変なのはわかるが、予め降雪が見込まれる際は、早めに出動するよう検討してもらえればと思う。

【山岸所長】

- ・新型コロナウイルスワクチンの接種について、本市では国が示した優先順位に基づき準備を進めている。

【隠田次長】

- ・降雪が見込まれる際は事前に出動するよう除雪業者へ依頼しているが、今冬は短期間に大量の雪が降ったため除雪が間に合わなかった。今回の除雪に関する課題や反省点を整理し、次年度に繋げたいと思う。

【小黒委員】

- ・牧区内の道路はしっかりと除雪されていたため、通勤に支障は生じなかった。合併前上越市では道路除雪が間に合わず交通障害が発生していたが、当地区を含む山間部では除雪に関する大きな問題は無かったと思う。街場では車が出せず徒歩で通勤する人が多くいた。

【西山会長】

- ・街場は建物が密集しているため、排雪する場所がない。排雪場所を確保しない限り、この問題は解決しないと思う。

【横尾委員】

- ・資料の5ページ目に記載のある「地域集落支援事業」では、集落づくり推進員を増員する計画となっているが、担当地区を変更するのか。

【山岸所長】

- ・板倉区総合事務所に集落づくり推進員が1人配属されており、板倉区、清里区、中郷

区を担当している。計画では、清里区と中郷区を担当する推進員を増員し、集落支援を行うこととしている。

【横尾委員】

- ・牧区の担当に変更はあるのか。

【山岸所長】

- ・変更する予定はない。

【飯田副会長】

- ・先般、新野球場の新設を求める署名運動が実施され、要望書が市へ提出された。その後の進捗状況はどのようなものか。

【山岸所長】

- ・事業実施の可否を含め所管課にて検討を継続している。

【井上委員】

- ・除雪については、小黒委員の意見のとおりだと思う。国道405号線を牧区から高田方面に向かうと、十二ノ木のT字路から住宅が建ち並ぶまでの間は消雪パイプの設置がなく、周囲に雪押し場はあるようだが道がかなり悪かった。これが原因なのかはわからないが、バスが通れなくなったと聞いた。私自身も車のすれ違いができなかった。牧区に住んでいて一番危ない場所だと思ったので、時間があれば除雪についてお互いに連絡ができればと思う。もう1つは、資料の9ページ目に記載のある「ひと・もの・情報が行き交う仕組み」については、非常に大事な事だと思うが、コロナ禍の中で「インバウンド推進事業補助金」では、市内事業者が実施する外国人旅行者の受入態勢の整備、「友好交流促進事業」では、オーストラリア・カウラ市の職員の受入れとの記載がある。牧区も含めて外国との交流は大事だと思うが、国内や他地域との交流も希望が持てると思うので、私たちが考えていきたいし、市にも考えてもらいたい。今年はコロナ禍の影響により、佐渡市への修学旅行が非常に増えたと聞いた。隣接地域との交流を考えていけたらよいと思う。

【山岸所長】

- ・道路除雪について意見のあった場所は国道であるため、管轄は県となり牧区外の除雪業者が除雪をしている。当該箇所の除雪に関する苦情が多く寄せられているとも聞いているので、今年の反省も踏まえ改善されていくと思う。

【井上委員】

- ・バスがすれ違いできずに止まったと聞いて、自分が歳を取った時に不安だと感じた。

【横尾委員】

- ・資料の10ページ目に記載のある「除雪支援システム実証モデル事業」は新規事業となっているが、今年の苦い経験から出されたものなのか。

【隠田次長】

- ・「除雪支援システム」とは、除雪車にGPSなどの機材を搭載し、車両が障害物に近づいた場合などにオペレーターに画面等で危険を知らせるものである。オペレーターには技術が必要となるため、若い方がすぐに除雪車を操作することは難しく高齢化が進んでいる。これらの問題を解決するため、まずは来年度にモデル地区にて当該支援システムの実証を行い、今後、全市に取り入れるかを判断するものである。

【西山会長】

- ・ほかに意見等を求めるが無かったため、(1)令和3年度当初予算案の概要についての報告を終了とする。
- ・続いて、本日の協議事項(1)令和3年度地域活動支援事業について、事務局に説明を求める。

【丸山班長】

- ・—資料2から資料4に基づき説明—

【西山会長】

- ・今ほどの説明について、意見等があれば願います。

【折笠委員】

- ・今年度もそうだが、コロナ禍により事業を中止にした案件があると思う。資料には、中止した場合は返金としか記載されていない。例えば、来年度の地域活動支援事業で牧区の予算配分を超える多くの団体から提案が出された場合、コロナ禍により中止となった事業分の金額を他の団体へ配分することはできないのか。

【丸山班長】

- ・基本的な考え方になるが、採択の決定通知後に中止を決定した場合の準備などに要した費用は補助対象となる。コロナ禍により中止となった事業分の金額については、再配分や返金などを含め地域協議会にて協議し、決定することになる。

【折笠委員】

- ・協議結果によっては、他の団体へ再配分することも可能ということか。

【丸山班長】

- ・可能である。残額の取扱いは、地域協議会にて協議し、決定することになる。

【西山会長】

- ・地域活動支援事業については、本協議会で協議を行い採択事業及び補助金額を決定することになる。来年度の事業提案数や補助希望額の合計がどうなるかわからないが、全体で協議し、決定していければと思う。

【佐藤委員】

- ・今年度に採択した事業で、全部または一部を中止とした事業はあるのか。

【山岸所長】

- ・牧文化協会が事業の全部を、川上地区協議会が事業の一部を中止とした。中止とした理由だが、牧文化協会は「牧っこ秋まつり」、「農協まつり」の会場内で事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために各まつりが中止となり、事業実施が困難となった。また、川上地区協議会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コンサートを中止とした。

【西山会長】

- ・ほかに意見等を求めるが無かったため、(1)令和3年度地域活動支援事業についての協議を終了とする。
- ・続いて、(2)自主的審議事項について、事務局に説明を求める。

【山岸所長】

- ・前回の地域協議会時に意見のあったJCVの視聴について、必要手続きや工事内容等を調べたので報告する。
- ・—参考資料に基づき説明—

【丸山班長】

- ・前回の協議会では、「委員各自が自主的審議事項の進め方などについて考えをまとめ、次回の協議会時に発言する」との内容で協議を終えた。引き続き、これまで配布した資料などを参考に、自主的審議事項のテーマ及び進め方等について協議をお願いします。

【西山会長】

- ・今ほどの事務局からの説明にもあったが、今回は各委員から自主的審議事項の進め方などについて考えを発言してもらいたい。井上委員から順番に意見を求める。

【井上委員】

- ・ぼんやりとしているが、牧区の住みやすさについて考えたらどうかと思う。これには3つの観点があり、1つ目は「子どもが育つこと」。2つ目は「働ける場があること、或いは働いて生活ができること」。3つ目は「お年寄りが健康でのんびりと過ごせること」である。牧区はいい所だと思うので、このようなことに知恵なり皆さんの意見なりが反映されるようなことを考えていきたいと思う。具体的には、情報をそれぞれの観点で活かしていくということであり、そのためにはケーブルビジョンもそうだがインターネットをどのように使うか、などがある。ぼんやりとしているが、そのようなことを考えている。

【西山会長】

- ・小黒委員に意見を求める。

【小黒委員】

- ・協議会の同じメンバーだけで話し合いをしても、意見や見えてくる部分が違ったりしている状況だと思う。例えば、清水委員はバレーボールを教えており、私は剣道を教えている。他にもスキーを習っている子ども達もいる。このような習い事をしている子ども達のお母さん方と意見交換会ができればと思う。お父さんではなく、お母さんに話を聞いた方がよい。お母さんが子どもを育てていく中で求めているものなどを聞くことができれば、そこから何かが見えてくると思う。各団体に依頼すれば、協力は得られると思う。

【西山会長】

- ・意見交換会を実施することになった場合、バレーボール、剣道、スキークラブの3つを一緒の会場に集めることでよいか。

【小黒委員】

- ・色々な視点から意見が出てくると思うので、一緒の方がよいと思う。

【西山会長】

- ・今ほどの小黒委員の意見については、改めて全体で協議したいと思う。
- ・続いて、折笠委員に意見を求める。

【折笠委員】

- ・「高齢者が心豊かに、安心安全に暮らせる地域づくり」について協議できればと思う。今現在は子どもに頼って生活するしかない状況である。免許証を返納してしまったら何もできなくなるため、近所には80歳、90歳になっても車を乗っている方が何人もいる。このような状況が解消できるよう考えていきたい。また、交通だけではなく、集まれる場所や健康づくりなどについても検討できればと思う。

【西山会長】

- ・今ほどの意見は、「高齢者が心置き無く住めるにはどうしたらよいか」との捉え方でよいか。

【折笠委員】

- ・そのようになる。

【坂井委員】

- ・牧区では人口減少が進んでいる。このような中でも「牧区に住みたい」、「これからも住み続けたい」と思ってもらえるような取り組みが必要だと思う。先ほどの井上委員の意見にもあったが、働く場所があり、子育て世代や高齢者の方々が安心して牧区で一生を終えることができるようにするには、お母さん方やお年寄りの方々が何を望んでいるのか意見を聞き、牧区に足りないものを援助できるような施策を練っていかなければならないと思う。具体的にどうすればよいのかわからないが、お母さん方や老人会の皆さんに意見を聞きながら検討できればと思う。

【西山会長】

- ・意見交換会の対象などについては、改めて全体で協議したいと思う。
- ・続いて、佐藤委員に意見を求める。

【佐藤委員】

- ・自分の身近なところでは、亡くなる方がいたり、高齢でもヘルパーなどの福祉制度の恩恵を受けて元気に一人で暮らしている方や、高齢者夫婦で暮らしている方がおり、そういうことが維持されている時代であるため、もう少し活気が欲しいと思う。働き盛りで都会や高田、直江津方面に出てそろそろ定年を迎える方々が、またこちらに戻って来て高齢の親と一緒に住めるようなことができればよいと思う。自分の身の回りを見て足腰の強い集落にしたいと思う。具体的にどのように進めるかというと、先ほ

どの意見と同じように色々な地域団体、生産組織、子育て世代である保護者会の方々と話し合いを持ちたいと思う。それから、キャッチフレーズは「自然豊かな牧で、心豊かに懐豊かに暮らせばいいな」という風に思っている。多少条件が厳しくても、お金が自分の懐に入ってくれば暮らしていけるわけで、牧区では働く場が無く、観光や特産品も人々が飛びついてくるほどのものにはなっていない。費用を掛けずにお金が自分の手元に残るようなことも一つの手だと思し、そのような市民生活、お金が入る産業的な部分、子育てや教育を3本柱として考えていければと思う。

【西山会長】

- ・続いて、清水委員に意見を求める。

【清水委員】

- ・テーマはぼんやりとさせておき、その中でもう少し詳しく、小黒委員が言うとお若いお母さん方の意見を聞きながら進めていくことが必要だと思う。それから、牧区では5年後の農業がどのようになっているのかを考えてみた。「自分の代までは農業をするが、後は知らない」と考えている人ばかりである。組織を作って始めたが、5年後には担い手がなくなる状況である。このような中で、どのようにやっていけるのかどうか、例えば二階建ての組織を作ってぼんやりとしたテーマの中で検討してはどうかと思っている。

【西山会長】

- ・続いて、高澤委員に意見を求める。

【高澤委員】

- ・意見の前に、1点ほど質問させてもらいたい。昨年度から牧振興会が交通支援として取り組んでいる「どこでもドア」について、進捗状況はどのようなものか。

【丸山班長】

- ・牧振興会が取り組んでいる交通支援策について、当初は行政も関わりながら話し合いを進めてきたが、今現在、行政は直接関わっていない。社協の方の福祉輸送の部分にウェイトを置きながら、福祉の助成事業とタイアップをして振興会の方で進めていると思う。皆さんにお示しできる具体的な内容になっていないが、牧振興会にて継続して取り組んでいる状況である。

【折笠委員】

- ・ 社会福祉協議会と牧振興会が一緒になって計画した買い物ツアーが、参加者が集まらず中止になったと聞いた。

【西山会長】

- ・ 昨年度に牧振興会がファシリテーターを講師に招き、交通支援や子育て支援などの3つのグループに分かれてワークショップを開催した。この結果、実現性の高い交通支援について取り組むこととなったが、目的としていた「利用者の玄関から行先までの送迎」が道路運送法上困難となった。よって、先ほどの事務局からの説明にもあったが、福祉と関連付けることで事業が実施できないか協議・検討しているところである。

【高澤委員】

- ・ 牧振興会をバックアップしていければと思う。

【西山会長】

- ・ 協議にもよるが、本協議会の自主的審議事項として交通支援に取り組むことも可能である。
- ・ 続いて、難波委員に意見を求める。

【難波委員】

- ・ 先般の地区懇談会では、住民の方から自然災害や鳥獣被害などについて意見が出されていた。清水委員からの意見にもあったが、課題を限定して自主的審議事項のテーマにするのではなく、「住みやすい地域づくりのために」などといった大きなものとし、その中で少子高齢化などについて取り組み、必要に応じて小黒委員の意見のように、保護者の方々との意見交換会を実施すればよいと思う。先ほどから意見が出されているが、高齢者が安心して暮らせる地域づくりができればと思うし、本協議会の委員だけで協議するのではなく、多くの住民から意見を聞きながら進めていければと思う。働く場所が無いからといって企業を誘致することはできないが、牧区から安心して職場へ通勤してもらい、仕事が終われば牧区に戻ってきてもらえるような地域にしていかなければならない。人口が増えればバスの本数が増えるかもしれないし、コンビニエンスストアが出店するかもしれない。大きなテーマの中にある我々ができることを、1つずつ時間を掛けて取り組んでいければと思う。任期中に結論を出すことができないかもしれないが、牧区が住みやすい地域になることが大事である。

【西山会長】

- ・続いて、横尾委員に意見を求める。

【横尾委員】

- ・先般の地区懇談会で出された住民の意見を自主的審議事項に含むことができると感じている。自主的審議事項となると慎重になり過ぎて構えてしまうが、そうではなく地元集落の意見を聴くなど自分の足元をしっかりと固めたうえで、取り組むべき事項を決めて進んでいければと思う。まずは自分が行動し、楽しむことが大事だと考える。こうすることで、自然と人が集まり地域が活性化していく。今ほど出された各委員の意見は非常に素晴らしいと思った。自分の考えは1つにまとめることはできなかったが、委員全員と協力して取り組んでいけたらと思う。

【西山会長】

- ・各委員から意見を出してもらったが、簡単にまとめると「子育て世代のお母さん方や老人会などと意見交換を行ったらどうか」との意見が多かった。個人的な意見になるが、牧区内にある団体等と意見交換を行うことに賛成である。私からの提案になってしまうが、意見交換会を開催する方向で調整することに決定してよいか。

(一同、異議なし)

【西山会長】

- ・それでは意見交換会を開催することで調整することとし、相手先となる団体や開催日時等については事務局と協議し、詳細が決まり次第改めて報告をさせてもらう。

【山岸所長】

- ・意見交換会の相手先は、先ほど意見のあったバレーボールや剣道教室などに通う子どもたちのお母さん方とすることでよいか。

【西山会長】

- ・老人会との意見もあったが、今回は小黒委員からの意見にあったバレーボール、剣道などの習い事をしている子どもたちのお母さん方と意見交換を行うことでよいか。

【難波委員】

- ・習い事をしている世帯に限定するのではなく、子育てしているお母さん方に広く声を掛けたらどうか。

【西山会長】

- ・声掛けする範囲については、今後、調整したいと思う。

【小黒委員】

- ・ 周囲で子育てしているお母さんを誘ってもらえるように案内するのも1つである。

【丸山班長】

- ・ 案内は団体を限定して行うのか、それとも牧区全体を対象に広く行うのか整理をお願いする。

【飯田副会長】

- ・ 先般も意見したが、自主的審議事項について協議する際は、大勢の方から様々な意見を聴く必要があると思う。団体に限定して案内を出した場合、役員任せとなり参加者が少なくなる可能性がある。また、これまでの傾向から広く案内を出しても参加する人が限られているため、意見交換会を開催する本来の目的を果たすことができない。個人的な意見になるが、年代を限定して開催するのではなく、幅広い年齢層の方々に集まってもらい、子育てや農業、福祉の事などについて様々な意見が聴ければと思う。そして、出された意見を基に協議を重ね、次に進むことができればと思う。

【難波委員】

- ・ 今ほどの飯田副会長の意見のとおりだと思うが、新型コロナウイルスの関係もあり大勢の方に案内を出しても集まらないと思う。例えば、意見交換会の代わりにアンケートを実施し、出された意見を基に協議する方法や、アンケート実施後に改めて意見交換会を開催する方法もある。

【清水委員】

- ・ バレーボールを教えているが、現在の生徒数は3人でお母さん方はすべて地区外の人である。以前、お母さん方に意見交換会の話をした際、「是非、参加させてください」との返答があった。一方で、「PTAや各団体の代表者が集まる場では男性が中心となってしまう、率直な意見が出せない」との意見もあった。今回は、牧区で習い事をしている子どもたちのお母さん方を対象に意見交換会を開催したらどうか。また、高齢者との意見交換会については、漬物や山菜に興味がある方々に集まってもらい、次世代への繋ぎ方などについて意見交換ができればと思う。規模は小さいかもしれないが、地域協議会の考えや活動を知ってもらう機会になる。

【西山会長】

- ・ 剣道やスキークラブの保護者は地区内か。

【小黒委員】

- ・剣道教室の保護者は全員地区内であり、スキークラブには地区外の方が2人ほどいる。

【西山会長】

- ・個人的な意見になるが、新型コロナウイルスの関係もあることから、今回の意見交換会は対象をある程度限定して開催したいと思うがどうか。その後、必要に応じて対象を拡大して開催できればと思う。

【難波委員】

- ・今ほどの意見に賛成する。始めることに意義があると思うし、その後の開催方法等については改めて協議し、決定していけばよいと考える。

【西山会長】

- ・意見交換会の相手先は、バレーボール及び剣道教室、スキークラブに通う子どもたちのお母さん方とすることでよいか。

(一同、異議なし)

- ・それでは意見交換会を開催することに決定し、案内方法などについては事務局と協議した後、改めて報告をさせてもらう。

【難波委員】

- ・役員のみ参加とならないよう案内してもらいたい。

【西山会長】

- ・ほかに意見等があればお願いします。

【難波委員】

- ・先ほど除雪についての話があったが、牧区において人口減少が進んでいる要因の1つに雪の影響があると思う。牧区内の除雪がしっかりしていても、周辺地域の道路除雪が悪いと、結局、牧区も住みにくくなってしまう。例を出すと、家を出ていくことはできるが帰ってくるができない。実際、先般の豪雪時に私の家族が自宅に帰ってくるができなかった。牧区を住みやすい地域にするためには、除雪の問題が出てくる。本協議会だけで解決することはできないが、地域を代表して市へ意見することができる。今後、自主的審議事項について協議する際は、除雪について考えていくことも重要であり大事だと思う。

【西山会長】

- ・ほかに意見等を求めるが無く、(2)自主的審議事項についての協議を終了する。
- ・続いて、その他連絡事項について、事務局に説明を求める。

【丸山班長】

- ・「意見書（高田区地域協議会）」について説明。
- ・「地域活動フォーラム」について説明。
- ・「地域協議会だより（第51号）」について説明。
- ・「令和3年度地域活動支援事業事前説明会の開催」について説明。
- ・「3月定例会の開催」について説明。

【西山会長】

- ・全体をとおして、意見等があればお願いします。

【飯田副会長】

- ・除雪について2点ほど質問させてもらう。回答は、次回の地域協議会時までで構わない。1点目は、山口地内にある事業所の水が国道405号線へ流れ出ている件についてである。道路凍結の原因になるばかりではなく圧雪時は非常に通行しにくい状況となる。国道であるため市の管理ではないが、道路に水が出ないように事業所へ指導してもらいたい旨を東維持管理事務所へ伝えてもらいたい。2点目は、先ほどから何回も意見に出ている国道405号線の除雪についてである。管轄が東維持管理事務所と地域振興局に分かれているため、同じ路線でも除雪状況が異なる。当該道路は生活道路であり経済道路でもある。牧区の住民から除雪に係る相当数の苦情が出ていること及び国と県の両者でしっかりと情報を共有し、通行に支障が生じないように除雪してもらいたい旨を市から伝えてもらいたい。

【西山会長】

- ・ほかに意見を求めるが無く、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いします。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。